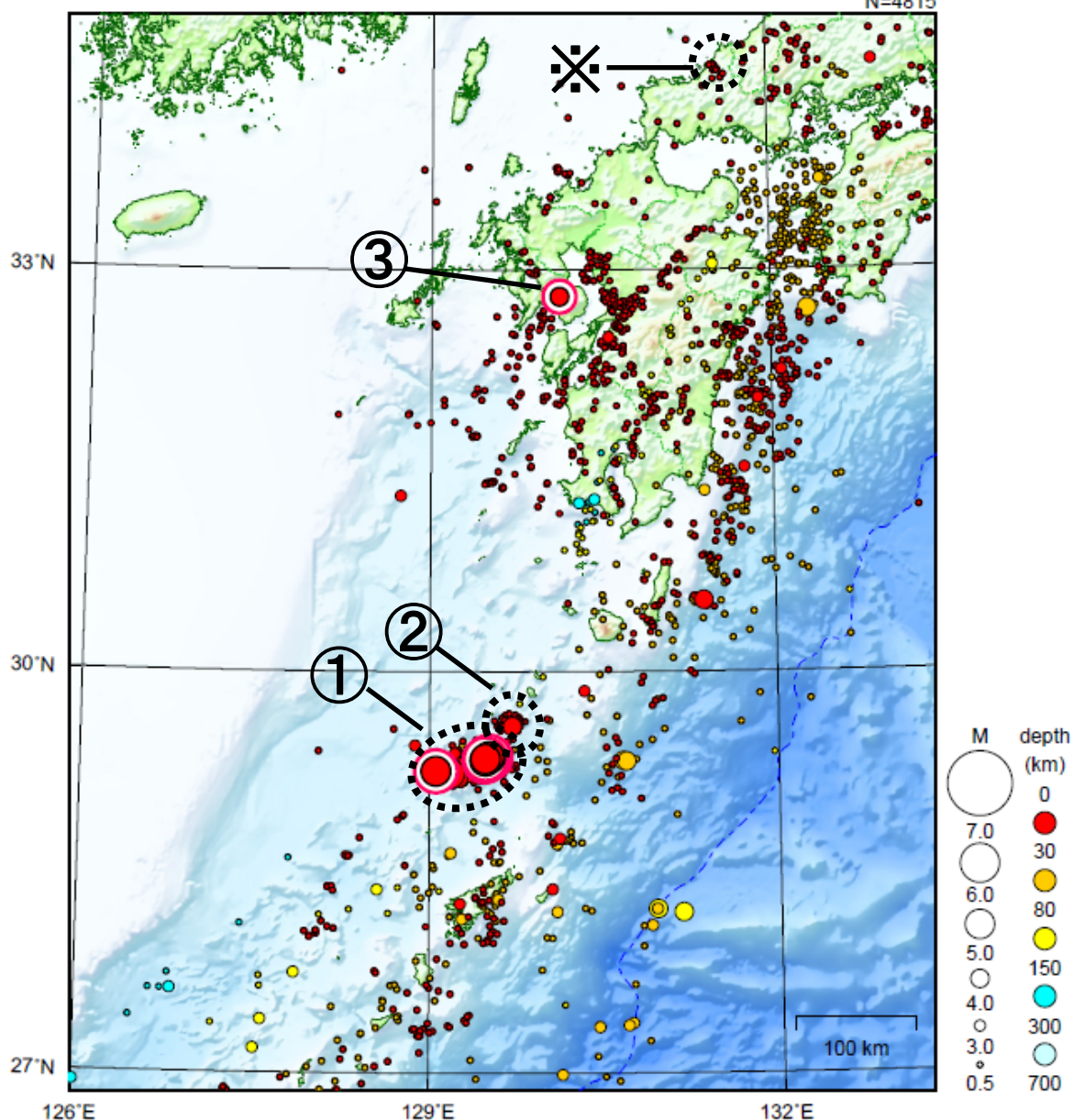


九州地方

2025/07/01 00:00 ~ 2025/07/31 24:00

N=4815



地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOP030 及び米国国立地球物理データセンターの ETOP02v2 を使用

- ① 7月3日16時13分にトカラ列島近海で M5.5 の地震（最大震度6弱）の地震が発生した。トカラ列島近海（小宝島付近）では、6月21日05時頃から地震活動が活発となり、7月31日までに震度1以上を観測した地震が2238回^{（注）}（震度6弱：1回、震度5強：3回、震度5弱：4回、震度4：51回、震度3：151回、震度2：555回、震度1：1473回）発生した。
- ② トカラ列島近海（諏訪之瀬島付近）では、7月8日に地震活動が一時的に活発となり、7月中に震度1以上を観測した地震が33回（震度3：6回、震度2：6回、震度1：21回）発生した。
- ③ 7月25日に長崎県南西部で M4.8 の地震（最大震度4）の地震が発生した。

※で示した地震については近畿・中国・四国地方の資料を参照。

（注）データは速報値であり、調査により変更される場合がある。

〔上述の地震は M6.0 以上または最大震度4以上、陸域で M4.5 以上かつ最大震度3以上、海域で M5.0 以上かつ最大震度3以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。〕

気象庁・文部科学省

トカラ列島近海の地震活動（小宝島付近）

（１）概要

トカラ列島近海（小宝島付近）では、2025 年 6 月 21 日 05 時頃から地震活動が活発となり、7 月 31 日までに震度 1 以上を観測した地震が 2238 回（震度 6 弱：1 回、震度 5 強：3 回、震度 5 弱：4 回、震度 4：51 回、震度 3：151 回、震度 2：555 回、震度 1：1473 回）^{（注 1）} 発生した。このうち、最大震度を観測した地震は、7 月 3 日 16 時 13 分に発生した M5.5 の地震で、鹿児島県十島村（悪石島）で震度 6 弱を観測したほか、トカラ列島から奄美群島にかけて震度 3～1 を観測した。また、最大規模の地震は、7 月 2 日 15 時 26 分に発生した M5.6 の地震（最大震度 5 弱）である。

今回の地震の発震機構（CMT 解）は、活動域西側では概ね北北東－南南西方向に張力軸を持つ正断層型であり、東側では概ね北北西－南南東方向に張力軸を持つ正断層型または横ずれ断層型である。

今回の一連の地震活動による人的・住家被害は報告されていない（2025 年 7 月 7 日 00 時 50 分現在、総務省消防庁による）。

また、福岡管区気象台と鹿児島地方気象台では、気象庁機動調査班（JMA-MOT）を派遣し、7 月 3 日 16 時 13 分の地震により震度 6 弱を観測した震度観測点及びその周辺において、震度観測点の観測環境及び地震動による被害状況について現地調査を実施した（7 月 5 日 06 時 29 分に発生した M5.4 の地震で震度 5 強を観測したことによる調査も含む）。

この地震による最大震度別地震回数表を表 1－1 に、震度 1 以上の日別地震回数グラフを図 1－1 に示す。

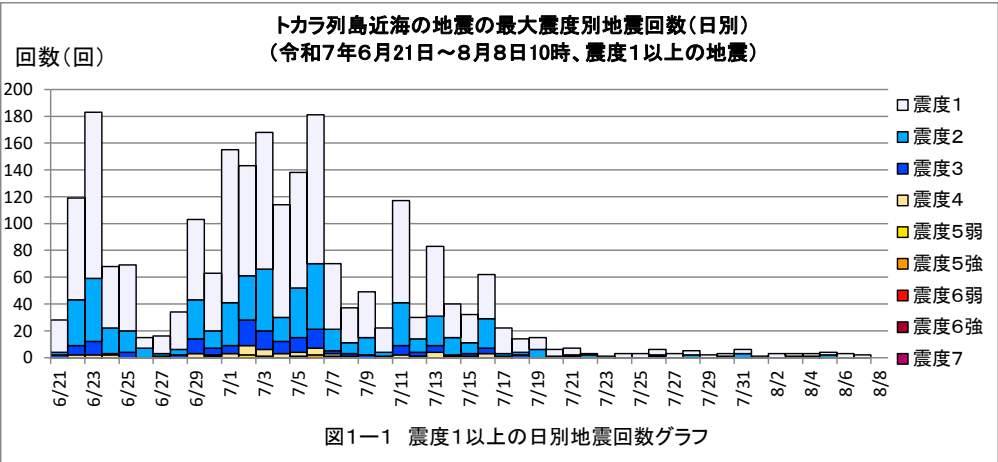
（注 1）震度 1 以上を観測した地震の回数は、後日の調査で変更する場合がある。

トカラ列島近海の地震の最大震度別地震回数表

表1ー1 震度1以上の日別最大震度別地震回数表(2025年6月21日～8月8日10時)

(注)掲載している値は速報のもので、その後の調査で変更する場合があります。

日別	最大震度別回数										震度1以上を 観測した回数		備考
	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7		回数	累計	
6/21	24	2	2	0	0	0	0	0	0		28	28	
6/22	76	34	7	2	0	0	0	0	0		119	147	
6/23	124	47	10	2	0	0	0	0	0		183	330	
6/24	46	19	1	2	0	0	0	0	0		68	398	
6/25	49	16	4	0	0	0	0	0	0		69	467	
6/26	8	7	0	0	0	0	0	0	0		15	482	
6/27	13	2	1	0	0	0	0	0	0		16	498	
6/28	28	4	2	0	0	0	0	0	0		34	532	
6/29	60	29	11	3	0	0	0	0	0		103	635	
6/30	43	13	5	1	1	0	0	0	0		63	698	
7/1	114	32	6	3	0	0	0	0	0		155	853	
7/2	82	33	19	7	2	0	0	0	0		143	996	
7/3	102	46	14	5	0	0	1	0	0		168	1164	
7/4	84	18	9	3	0	0	0	0	0		114	1278	
7/5	86	37	11	3	0	1	0	0	0		138	1416	
7/6	111	49	14	5	0	2	0	0	0		181	1597	
7/7	49	16	2	2	1	0	0	0	0		70	1667	
7/8	26	8	2	1	0	0	0	0	0		37	1704	
7/9	34	13	2	0	0	0	0	0	0		49	1753	
7/10	18	3	1	0	0	0	0	0	0		22	1775	
7/11	76	32	7	2	0	0	0	0	0		117	1892	
7/12	16	10	3	1	0	0	0	0	0		30	1922	
7/13	52	22	5	4	0	0	0	0	0		83	2005	
7/14	25	13	1	1	0	0	0	0	0		40	2045	
7/15	21	8	2	1	0	0	0	0	0		32	2077	
7/16	33	22	4	3	0	0	0	0	0		62	2139	
7/17	19	2	1	0	0	0	0	0	0		22	2161	
7/18	10	2	2	0	0	0	0	0	0		14	2175	
7/19	9	6	0	0	0	0	0	0	0		15	2190	
7/20	5	0	1	0	0	0	0	0	0		6	2196	
7/21	5	1	1	0	0	0	0	0	0		7	2203	
7/22	1	2	0	0	0	0	0	0	0		3	2206	
7/23	1	0	0	0	0	0	0	0	0		1	2207	
7/24	3	0	0	0	0	0	0	0	0		3	2210	
7/25	3	0	0	0	0	0	0	0	0		3	2213	
7/26	4	1	1	0	0	0	0	0	0		6	2219	
7/27	3	0	0	0	0	0	0	0	0		3	2222	
7/28	3	2	0	0	0	0	0	0	0		5	2227	
7/29	2	0	0	0	0	0	0	0	0		2	2229	
7/30	2	1	0	0	0	0	0	0	0		3	2232	
7/31	3	3	0	0	0	0	0	0	0		6	2238	
8/1	1	0	0	0	0	0	0	0	0		1	2239	
8/2	3	0	0	0	0	0	0	0	0		3	2242	
8/3	2	1	0	0	0	0	0	0	0		3	2245	
8/4	2	1	0	0	0	0	0	0	0		3	2248	
8/5	2	2	0	0	0	0	0	0	0		4	2252	
8/6	3	0	0	0	0	0	0	0	0		3	2255	
8/7	2	0	0	0	0	0	0	0	0		2	2257	
8/8	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	2257	10時現在
総計(6月21日～)	1488	559	151	51	4	3	1	0	0		2257		



気象庁作成

(2) 地震活動

ア. 地震の発生場所の詳細及び地震の発生状況

トカラ列島近海（小宝島付近）では、2025年6月21日05時頃から地震活動が活発となり、7月31日までに震度1以上を観測した地震が2238回（震度6弱：1回、震度5強：3回、震度5弱：4回、震度4：51回、震度3：151回、震度2：555回、震度1：1473回）^{（注1）}発生した。このうち、最大震度を観測した地震は、7月3日16時13分に発生したM5.5の地震（図中①）で、鹿児島県十島村（悪石島）で震度6弱を観測したほか、トカラ列島から奄美群島にかけて震度3～1を観測した。また、最大規模の地震は、7月2日15時26分に発生したM5.6の地震（図中②、最大震度5弱）である。他に最大震度5強を観測した地震は、7月5日06時29分に発生したM5.4の地震（図中③）、7月6日14時01分に発生したM4.9の地震（図中④）、7月6日14時07分に発生したM5.5の地震（図中⑤）である。今回の地震活動は陸のプレート内で発生した。発震機構（CMT解）は、①の地震は北北西－南南東方向に張力軸を持つ横ずれ断層型、②の地震は北北東－南南西方向に張力軸を持つ正断層型、③の地震は北北西－南南東方向に張力軸を持つ正断層型、⑤の地震は北北西－南南東方向に張力軸を持つ横ずれ断層型である（④の地震の発震機構（CMT解）は求まっていない）。

1994年10月以降の活動をみると、今回の地震活動域付近（領域a）では、時々まとまった活動がみられる。2023年9月8日から活発になった地震活動では、9月30日までに震度1以上を観測した地震が346回（震度4：2回、震度3：25回、震度2：82回、震度1：237回）発生した。このうち最大規模の地震は、9月11日に発生したM5.3の地震（最大震度4）である。また、2021年12月4日から活発になった地震活動では、12月31日までに震度1以上を観測した地震が308回（震度5強：1回、震度4：2回、震度3：15回、震度2：85回、震度1：205回）発生した。このうち最大規模の地震は、12月9日に発生したM6.1の地震（最大震度5強）である。この地震により鹿児島県十島村（悪石島）でがけ崩れなどの被害を生じた（被害は鹿児島県による）。そのほか、2000年10月2日に発生したM5.9の地震（最大震度5強）を最大とした活発な地震活動では、鹿児島県十島村（悪石島）で水道管破損1箇所などの被害が生じた（被害は総務省消防庁による）。

今回の地震活動と過去の主な地震活動について、活動期間ごとに120日間の期間で比較すると多様な活動の形態が見られる（エ. 過去の活動状況との比較（120日間）のページを参照）。この地域の地震活動は、活発な期間と落ち着いた期間を繰り返しながら継続することが多く、地震活動の終わりの時期を特定することが難しい。

（注1）震度1以上を観測した地震の回数は、後日の調査で変更する場合がある。

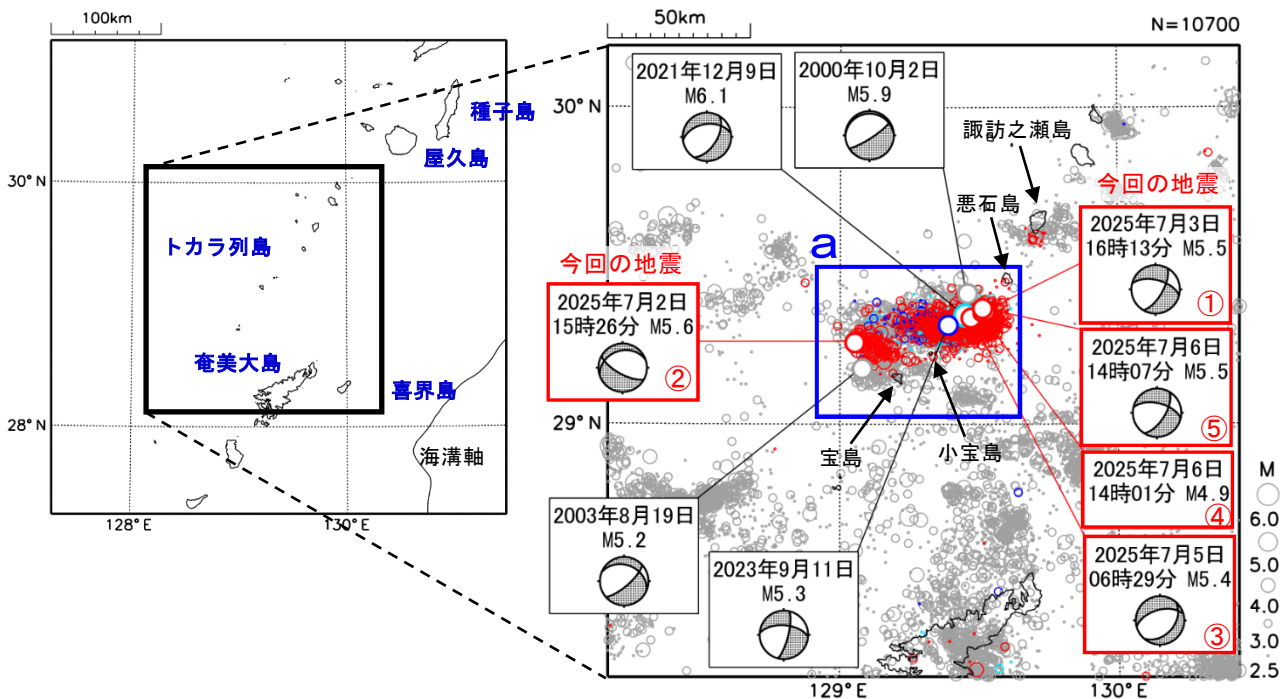


図2-1 震央分布図
（1994年10月1日～2025年7月31日、
深さ0～50km、M≥2.5）
2021年12月の地震を水色○で表示
2023年9月の地震を青色○で表示
2025年6月以降の地震を赤色○で表示
図中の発震機構はCMT解

※7月2日～22日の震源データは未精査を含む。

※2025年7月8日15時から、通常用いている観測点に加えて、鹿児島大学設置の臨時観測点 悪石島を使用している。

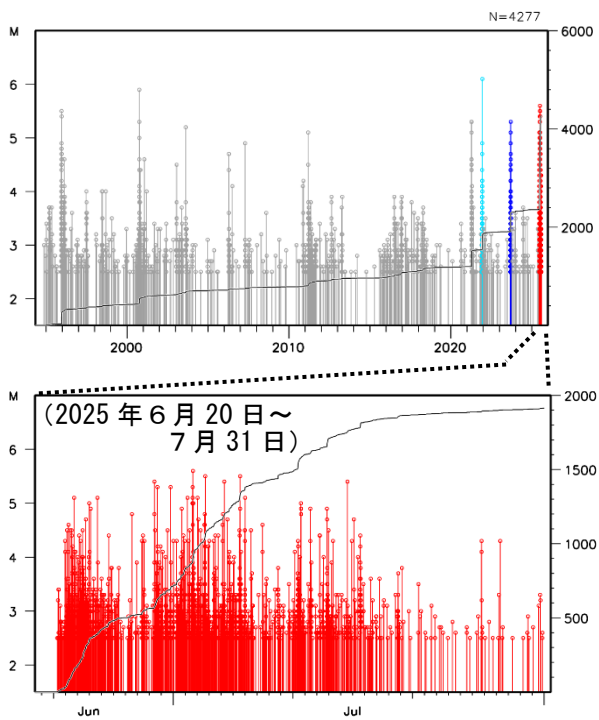


図 2 - 3 領域 a 内の M-T 図及び
回数積算図

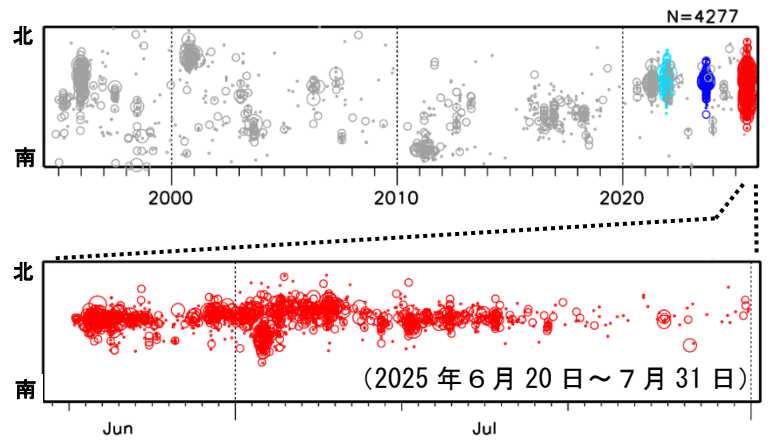
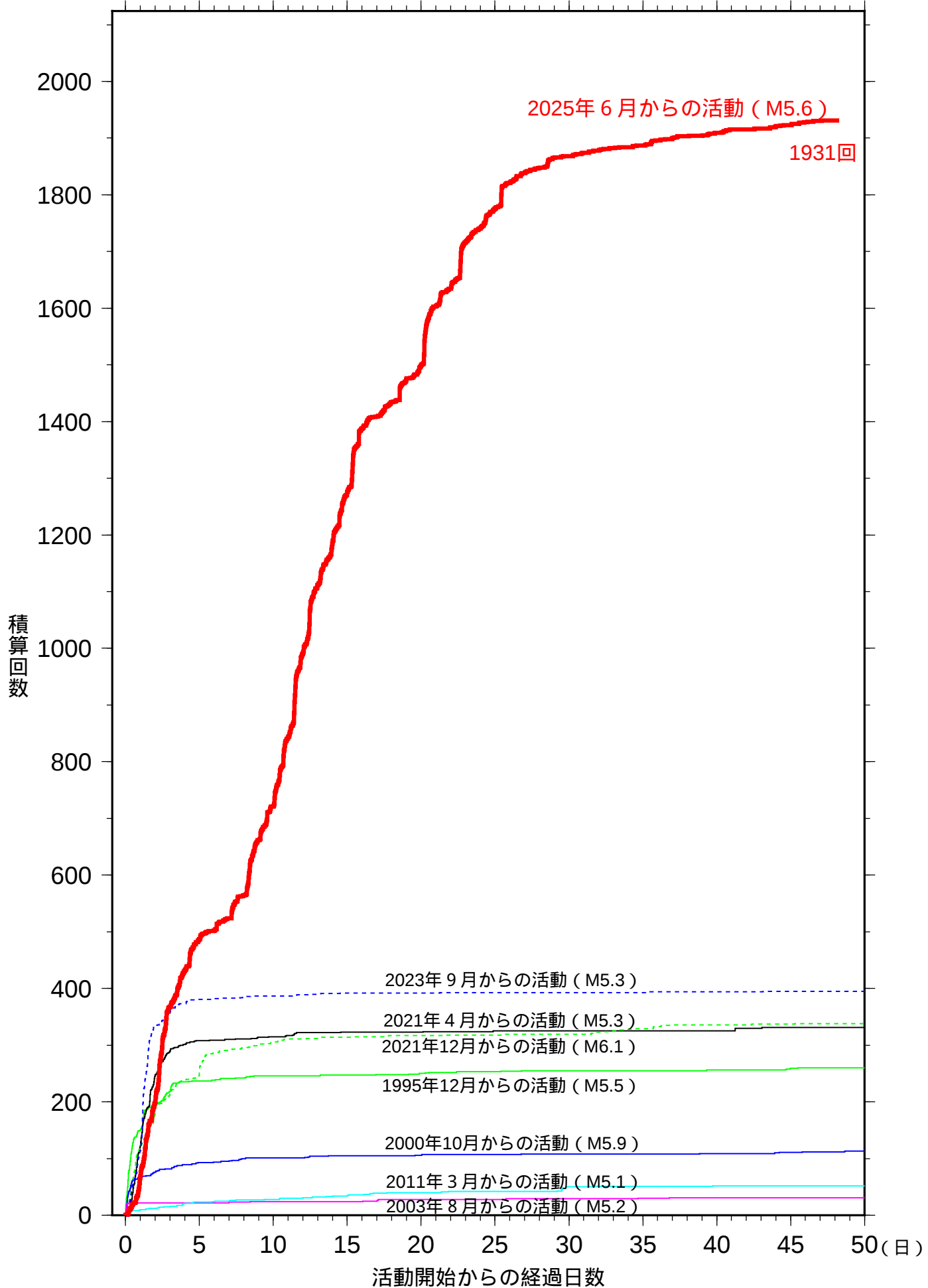


図 2 - 2 領域 a 内の時空間分布図（南北投影）

イ. 主な地震活動の地震回数比較（マグニチュード2.5以上）

（回）

2025年08月08日12時00分現在



この資料は速報値であり、後日の調査で変更することがある。
今回の地震のマグニチュードについては、これまでの最大を示している。

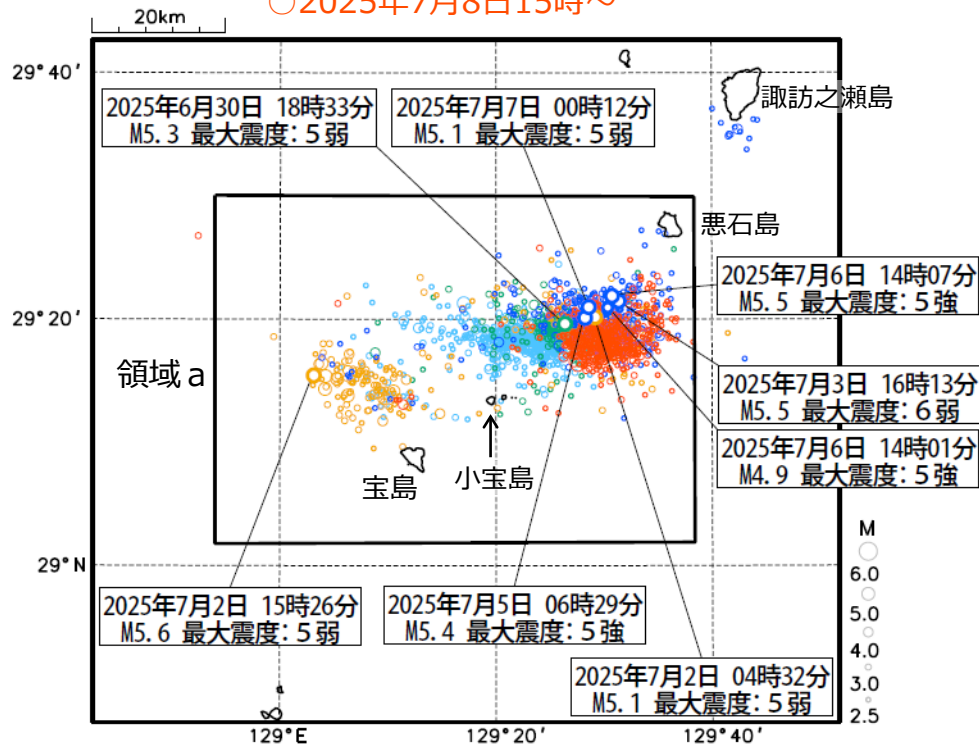
気象庁作成

ウ. トカラ列島近海の地震活動（2025年6月21日以降の地震活動）

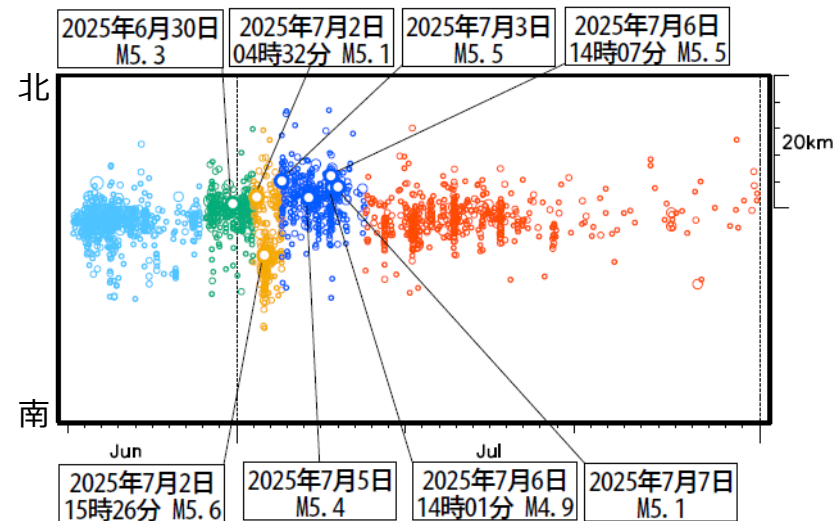
震央分布図

（2025年6月21日～7月31日、深さ0～50km、 $M \geq 2.5$ ）

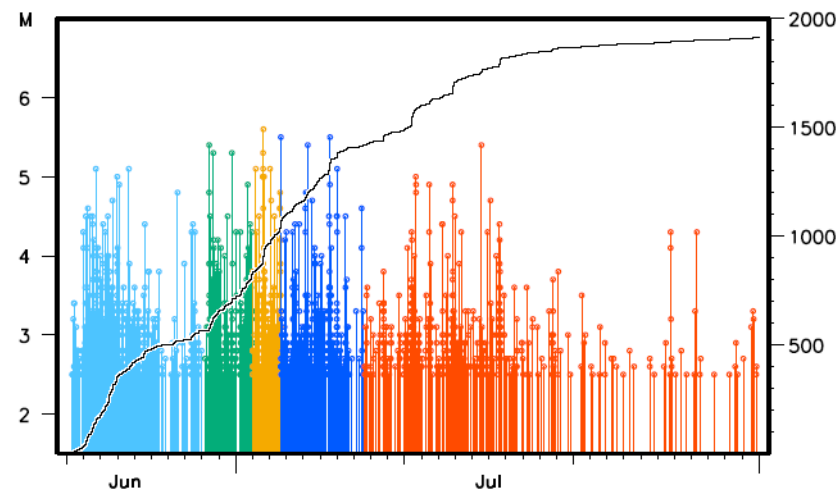
- 2025年6月21日～
- 2025年6月29日～
- 2025年7月2日～
- 2025年7月3日16時13分～
- 2025年7月8日15時～



領域a内の時空間分布図（南北投影）



領域a内のM-T図及び回数積算図



7月2日から22日の震源データは未精査を含む。

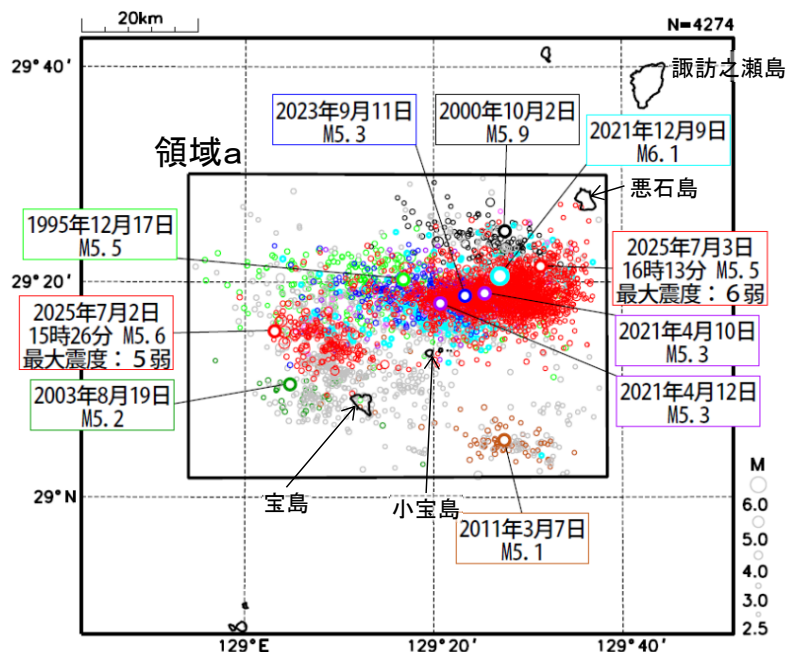
2025年7月8日15時から、通常用いている観測点に加えて、鹿児島大学設置の臨時観測点 悪石島を使用している。

工. トカラ列島近海の地震活動(小宝島付近)

(過去の活動状況との比較 M2.5以上、120日間)

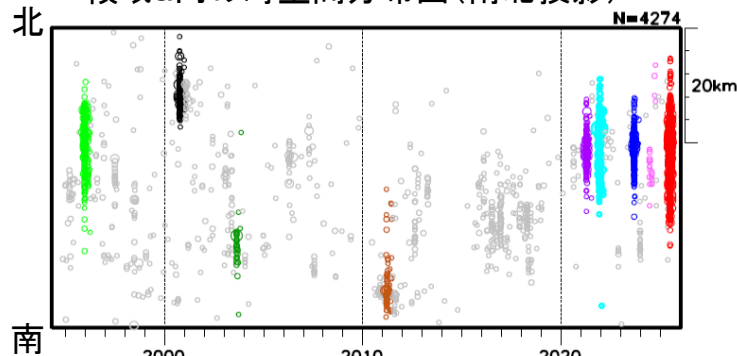
震央分布図

(1994年10月1日～2025年8月3日、深さ0～50km、M≥2.5)

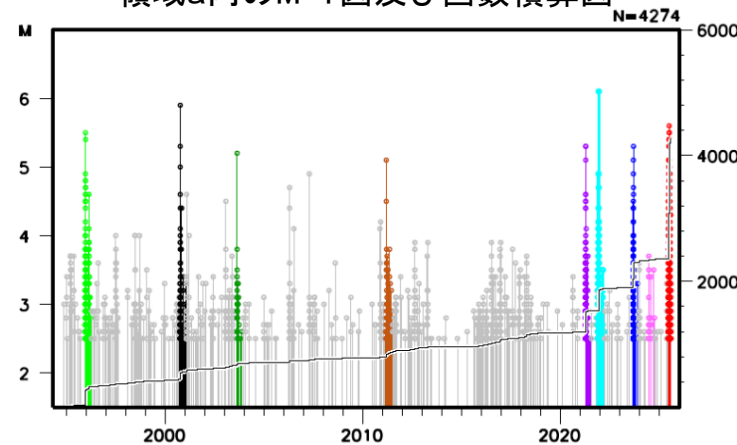


※2025年7月2日から22日の震源データは未精査を含む
 ※2025年7月8日15時から、通常用いている観測点に加えて、鹿児島大学設置の臨時観測点 悪石島を使用している。

領域a内の時空間分布図(南北投影)



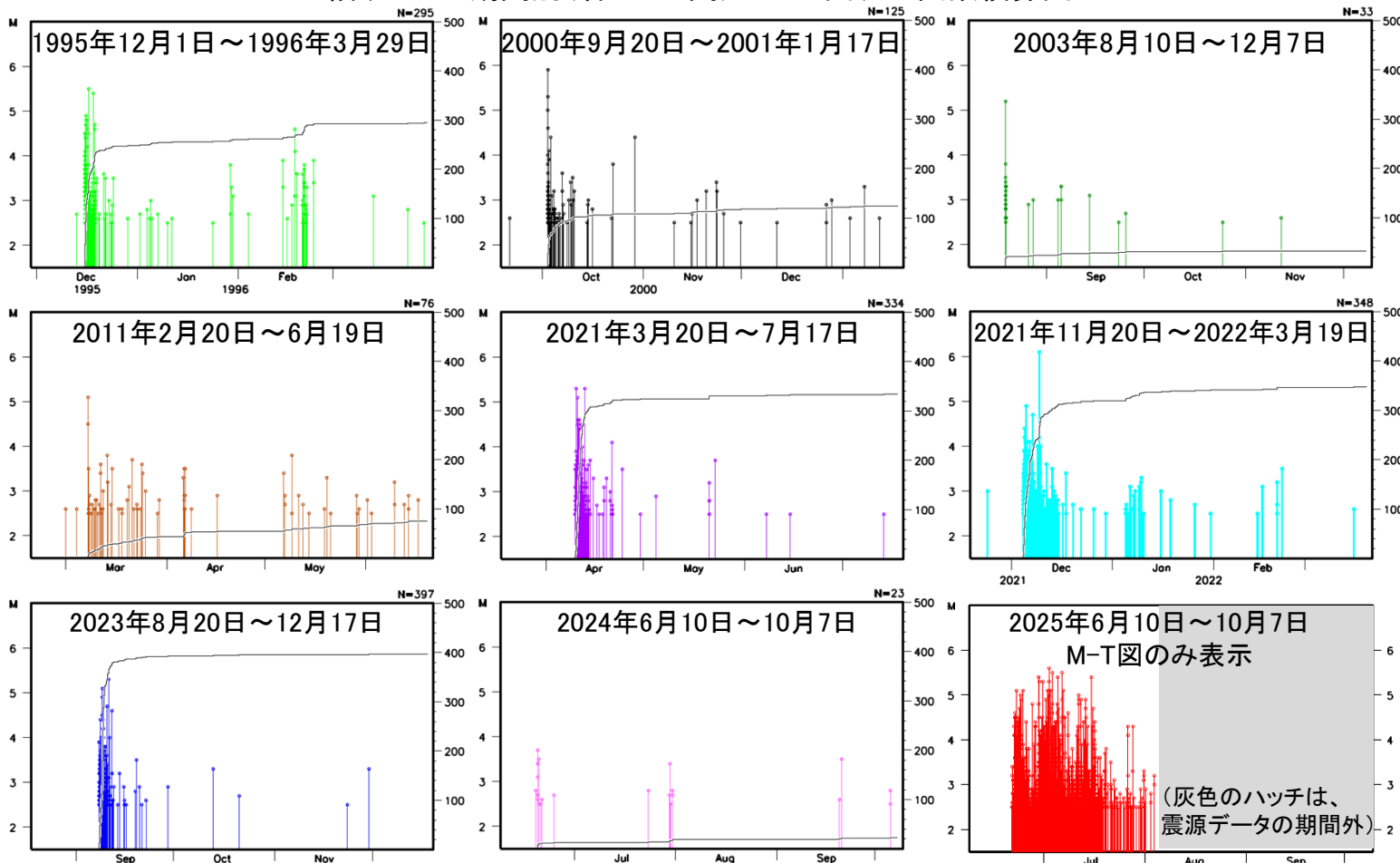
領域a内のM-T図及び回数積算図



主な地震活動の期間別(今回の活動以外は各120日間)の色分け

- 1995年12月1日～1996年3月29日: 黄緑色
- 2000年9月20日～2001年1月17日: 黒色
- 2003年8月10日～12月7日: 緑色
- 2011年2月20日～6月19日: 茶色
- 2021年3月20日～7月17日: 紫色
- 2021年11月20日～2022年3月19日: 水色
- 2023年8月20日～12月17日: 青色
- 2024年6月10日～10月7日: 桃色
- 2025年6月10日～: 赤色
- 上記期間以外: 灰丸

領域a内の期間別(各120日間)のM-T図及び回数積算図



オ. 発震機構

2025年6月21日から7月31日までに発生した地震の発震機構（CMT解）を図2-4に示す。

また、図2-5に、図2-4の領域内の地震の発震機構の型及び張力軸の分布を示す。

今回の地震の発震機構（CMT解）は、活動域西側では概ね北北東-南南西方向に張力軸を持つ正断層型であり、東側では概ね北北西-南南東方向に張力軸を持つ正断層型または横ずれ断層型である。

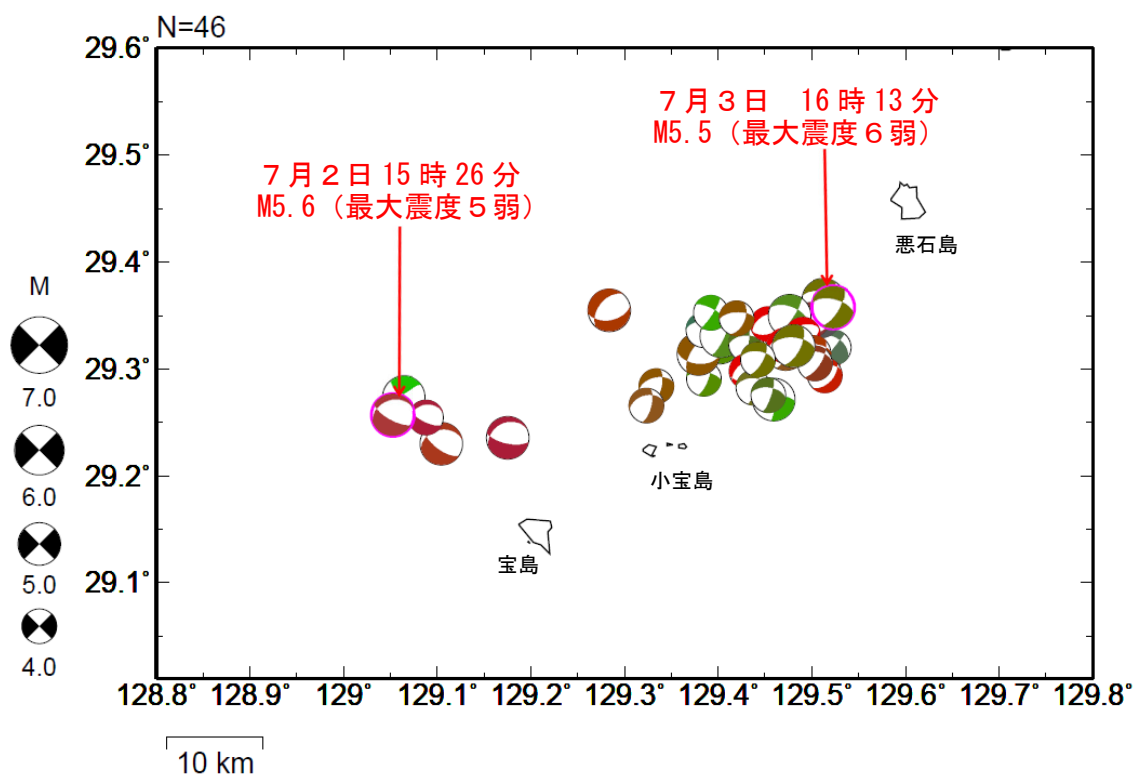


図2-4 発震機構分布図（CMT解）

（2025年6月21日～7月31日、深さ0km～50km、 $M \geq 4.0$ ）

逆断層型の地震を青色、正断層型の地震を赤色、横ずれ断層型の地震を緑色で表示（Frohlich(2001)による分類）。

ピンク色の丸囲みで表示している地震は震度6弱以上の地震及び今回の地震活動のうち最大規模の地震

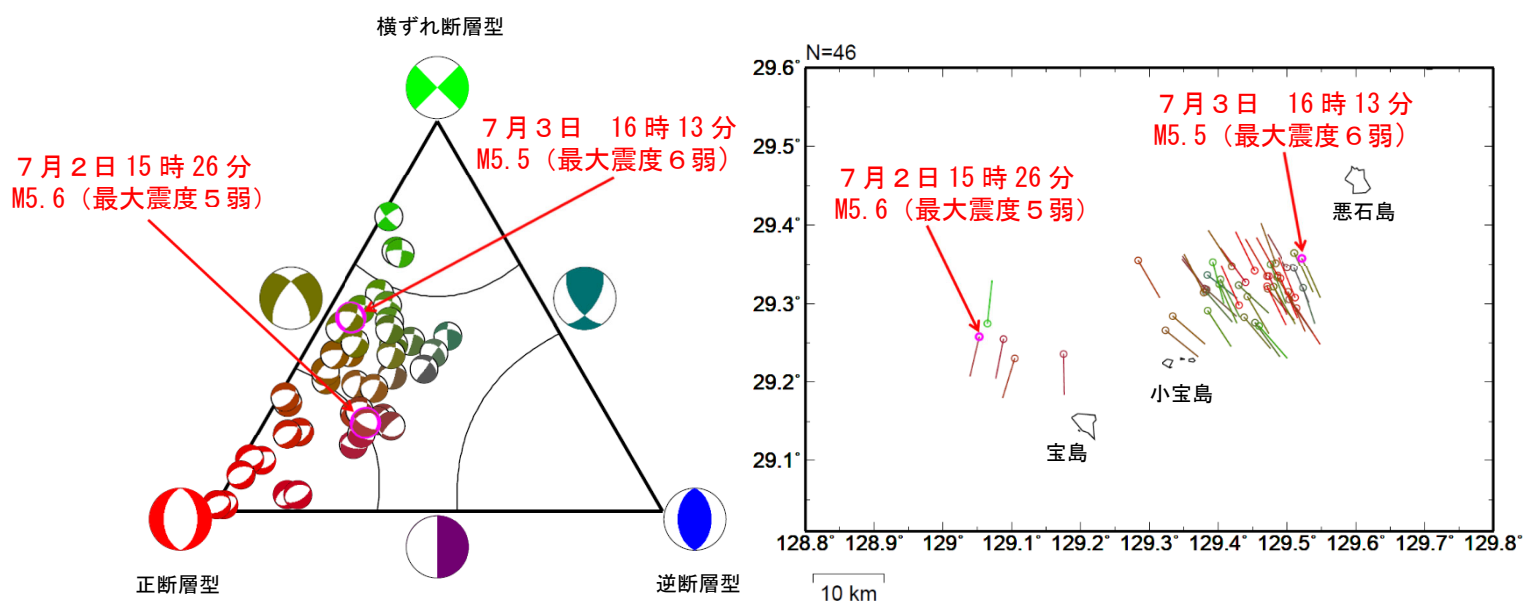


図2-5 図2-4の領域内の地震の発震機構の型の分布（左）と発震機構の張力軸の分布（右）

逆断層型の地震を青色、正断層型の地震を赤色、横ずれ断層型の地震を緑色で表示（Frohlich(2001)による分類）。

ピンク色の丸囲みで表示している地震は震度6弱以上の地震及び今回の地震活動のうち最大規模の地震

カ. 過去の地震活動

1919 年以降の活動をみると、今回の地震活動周辺（領域 b）では、M5.0 以上の地震が時々発生している。このうち、1975 年 9 月 25 日に発生した M5.3 の地震により、鹿児島県十島村小宝島で地割れの被害が生じた（被害は「日本被害地震総覧」による）。

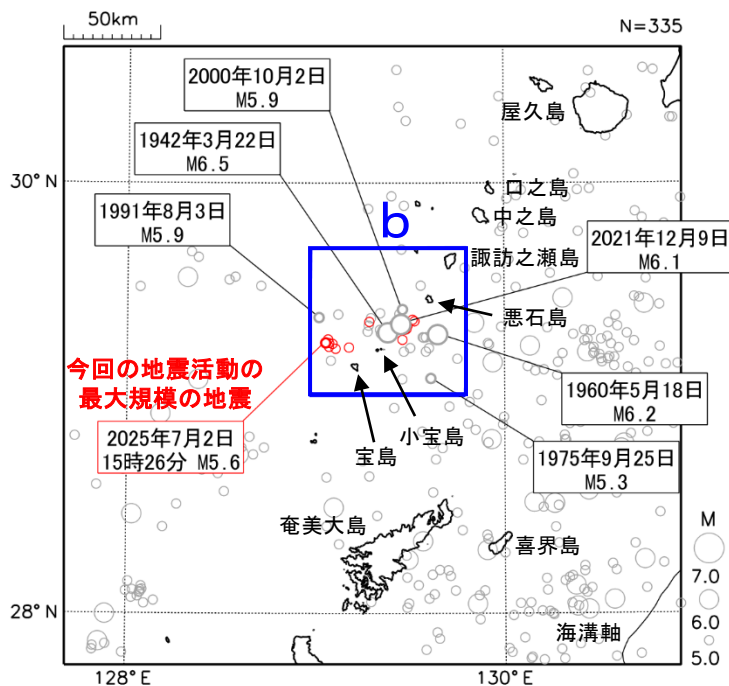


図 2-6 震央分布図
(1919 年 1 月 1 日～2025 年 7 月 31 日、
深さ 0～100km、 $M \geq 5.0$)
2025 年 6 月以降の地震を赤色で表示

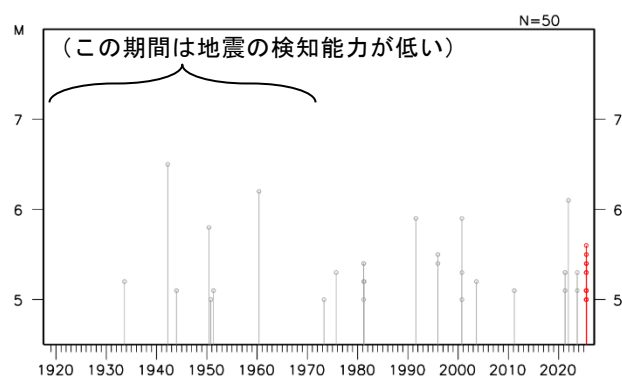


図 2-7 領域 b 内の M-T 図

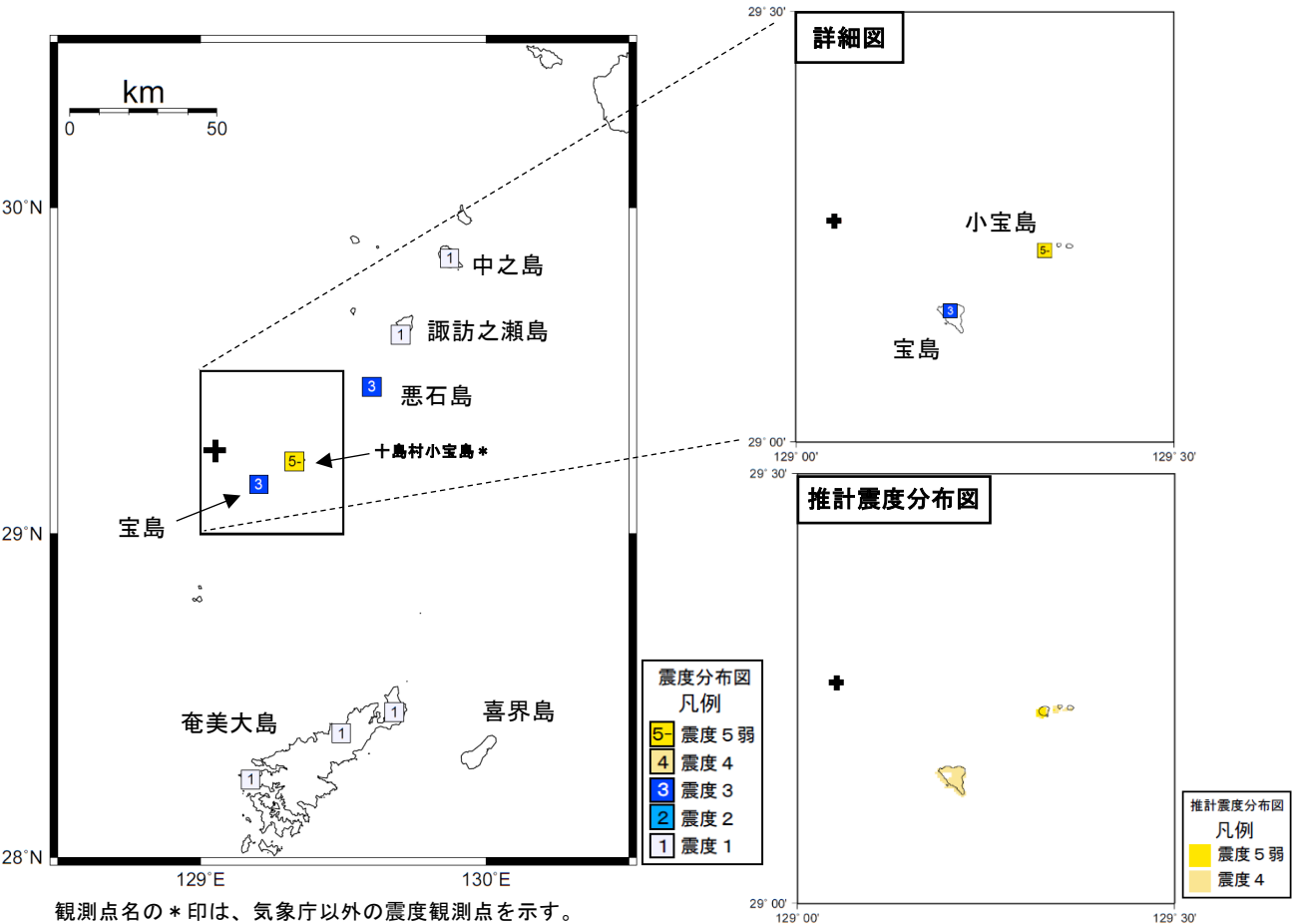
※2025 年 7 月 8 日 15 時から、通常用いている観測点に加えて、鹿児島大学設置の臨時観測点 悪石島を使用している。

(3) 震度と加速度

2025年7月3日16時13分に発生した地震（M5.5）により、鹿児島県十島村（悪石島）で震度6弱を観測したほか、中之島から徳之島にかけて震度3～1を観測した。また、今回の地震活動の中で最大規模である7月2日15時26分に発生した地震（M5.6）により、鹿児島県十島村（小宝島）で震度5弱を観測したほか、中之島から奄美大島にかけて震度3～1を観測した。

ア. 7月2日15時26分のM5.6の地震の震度と加速度

この地震の震度分布図及び推計震度分布図を図3-1に、震度5弱以上を観測した地点の計測震度及び最大加速度を表3-1に示す。



＜推計震度分布図について＞
地震の際に観測される震度は、ごく近い場所でも地盤の違いなどにより1階級程度異なることがある。また、このほか震度を推計する際にも誤差が含まれるため、推計された震度と実際の震度が1階級程度ずれることがある。
このため、個々のメッシュの位置や震度の値ではなく、大きな震度の面的な広がり具合とその形状に着目して利用されたい。

図3-1 2025年7月2日15時26分 トカラ列島近海の地震（M5.6、最大震度5弱）の震度分布図及び推計震度分布図（+印は震央を表す）

表3-1 2025年7月2日15時26分 トカラ列島近海の地震の計測震度および最大加速度（震度5弱以上）

都道府県	市区町村	観測点名	震度	計測震度	最大加速度(gal=cm/s/s)				
					合成	南北成分	東西成分	上下成分	震央距離(km)
鹿児島県	十島村	鹿児島十島村小宝島*	5弱	4.7	222.5	196.6	219.1	79.7	27.4

※この表の最大加速度は、計測震度が最大となる区間における加速度の最大値である。

イ. 7月3日16時13分のM5.5の地震の震度と加速度

この地震の震度分布図及び推計震度分布図を図3-2に、震度5弱以上を観測した地点の計測震度及び最大加速度を表3-2に示す。

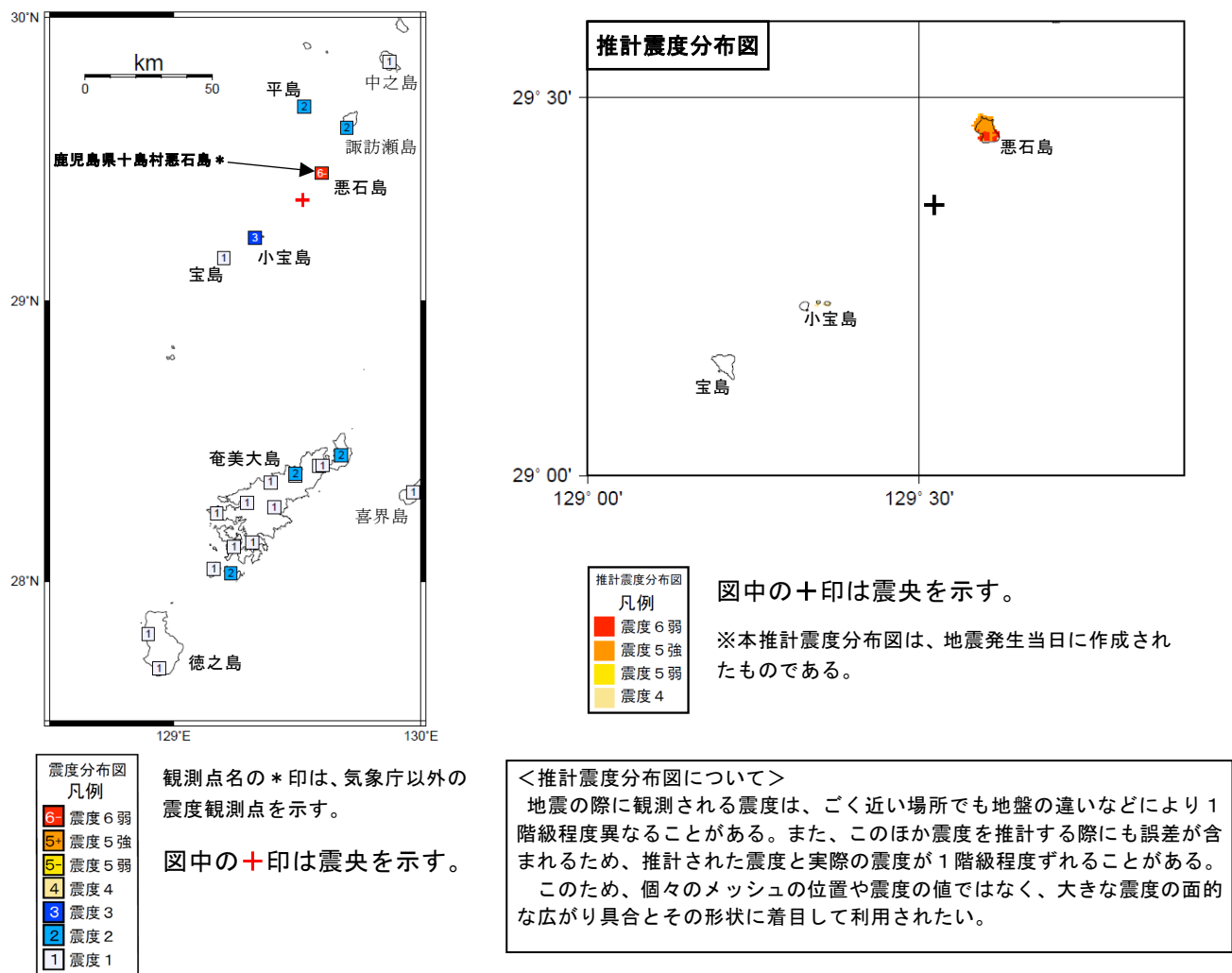


図3-2 2025年7月3日16時13分 トカラ列島近海の地震（M5.5、最大震度6弱）の震度分布図及び推計震度分布図

表3-2 2025年7月3日16時13分 トカラ列島近海の地震の計測震度および最大加速度（震度5弱以上）

都道府県	市区町村	観測点名	震度	計測震度	最大加速度(gal=cm/s/s)				震央距離 (km)
					合成	南北成分	東西成分	上下成分	
鹿児島県	十島村	鹿児島県十島村悪石島*	6弱	5.6	450.4	403.1	331	236.7	12.9

※この表の最大加速度は、計測震度が最大となる区間における加速度の最大値である。

(4) 緊急地震速報の内容

・ 7月2日 15時26分 トカラ列島近海の地震 (M5.6)

7月2日 15時26分に発生したトカラ列島近海の地震 (M5.6) に対して発表した緊急地震速報について、その内容の詳細を以下の表及び図により示す。

表4-1 発生した地震の概要 (暫定値)

地震発生日時	震央地名	北緯	東経	深さ	M	最大震度
令和7年07月02日 15時26分47.6秒	トカラ列島近海	29° 15.4′	129° 03.1′	1km	5.6	5弱
令和7年07月02日 15時26分41.6秒	トカラ列島近海	29° 14.4′	129° 09.0′	14km	3.2	---

表4-2 緊急地震速報の詳細 (緊急地震速報 (警報) は背景が灰色のときに発表)

提供時刻等		経過 時間	震源要素					予測震度 および 長周期地震動階級
地震波 検知時刻			震央地名	北緯	東経	深さ	M	
第1報	15時26分49.0秒	4.4	トカラ列島近海	29.1	129.2	10km	3.5	予測震度なし
第2報	15時26分53.1秒	8.5	トカラ列島近海	29.1	129.2	10km	4.6	予測震度なし
第3報	15時26分54.7秒	10.1	トカラ列島近海	29.1	129.2	10km	4.6	予測震度なし
第4報	15時26分56.8秒	12.2	トカラ列島近海	29.1	129.2	10km	5.7	予測震度なし
第5報	15時27分00.3秒	15.7	トカラ列島近海	29.2	129.1	10km	6.1	※1
第6報	15時27分08.2秒	23.6	トカラ列島近海	29.2	129.1	10km	5.4	※2
第7報	15時27分14.8秒	30.2	トカラ列島近海	29.2	129.1	10km	5.6	※2
第8報	15時27分34.0秒	49.4	トカラ列島近海	29.2	129.1	10km	5.6	※2
第9報	15時27分44.5秒	59.9	トカラ列島近海	29.2	129.1	10km	5.6	※2

※1 震度5弱程度以上 鹿児島県十島村

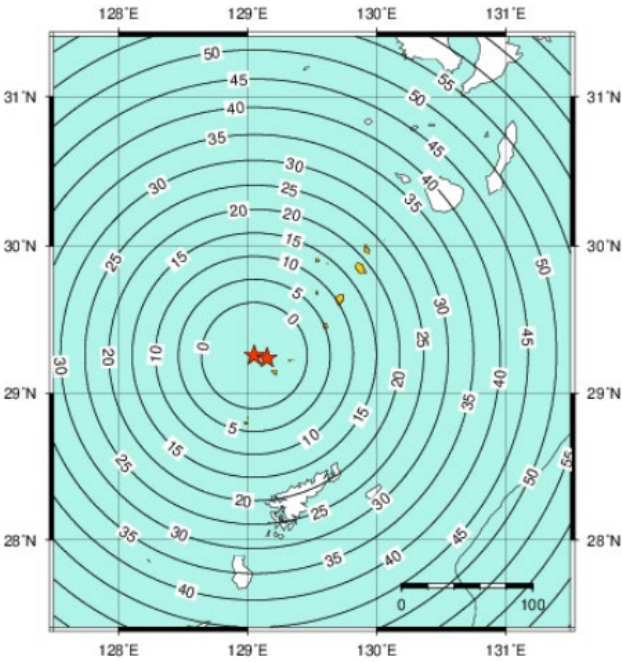
長周期地震動階級1 鹿児島県奄美北部

※2 震度4程度以上 鹿児島県十島村

図 4－1 警報第 1 報発表から主要動到達
までの時間

 緊急地震速報（警報）を発表した地域

 : 震央



・ 7月6日 14時07分 トカラ列島近海の地震 (M5.5)

7月6日 14時07分に発生したトカラ列島近海の地震 (M5.5) に対して発表した緊急地震速報について、その内容の詳細を以下の表及び図により示す。

表 4－3 発生した地震の概要 (暫定値)

地震発生日時	震央地名	北緯	東経	深さ	M	最大震度
令和 7 年 07 月 06 日 14 時 07 分 3.9 秒	トカラ列島近海	29° 21.8′	129° 30.7′	23km	5.5	5強

表 4－4 緊急地震速報の詳細 (緊急地震速報 (警報) は背景が灰色のときに発表)

提供時刻等		経過 時間	震源要素					予測震度 および 長周期地震動階級
地震波 検知時刻			震央地名	北緯	東経	深さ	M	
第 1 報	14 時 07 分 17.3 秒	5.9	奄美大島北西沖	29.8	128.1	10km	6.2	最大震度 3 程度以上
第 2 報	14 時 07 分 18.3 秒	6.9	奄美大島北西沖	29.8	128.8	10km	5.9	最大震度 3 程度以上
第 3 報	14 時 07 分 18.8 秒	7.4	奄美大島北西沖	29.8	128.8	10km	5.9	最大震度 3 程度以上
第 4 報	14 時 07 分 21.5 秒	10.1	奄美大島北西沖	29.8	128.8	10km	5.7	最大震度 3 程度以上
第 5 報	14 時 07 分 26.7 秒	15.3	トカラ列島近海	29.5	129.3	10km	4.9	最大震度 3 程度以上
第 6 報	14 時 07 分 28.0 秒	16.6	トカラ列島近海	29.4	129.5	10km	4.9	※1
第 7 報	14 時 07 分 29.4 秒	18.0	トカラ列島近海	29.4	129.5	10km	5.6	※2
第 8 報	14 時 07 分 31.8 秒	20.4	トカラ列島近海	29.4	129.5	10km	5.2	※1
第 9 報	14 時 07 分 33.3 秒	21.9	トカラ列島近海	29.4	129.5	10km	5.2	※1
第 10 報	14 時 07 分 41.5 秒	30.1	トカラ列島近海	29.4	129.4	40km	5.3	※3
第 11 報	14 時 07 分 43.4 秒	32.0	トカラ列島近海	29.4	129.4	40km	5.3	※3
第 12 報	14 時 08 分 03.0 秒	51.6	トカラ列島近海	29.4	129.4	40km	5.3	※3
第 13 報	14 時 08 分 23.0 秒	71.6	トカラ列島近海	29.4	129.4	40km	5.3	※3
第 14 報	14 時 08 分 24.7 秒	73.3	トカラ列島近海	29.4	129.4	40km	5.3	※3

※1 震度 4 程度 鹿児島県十島村

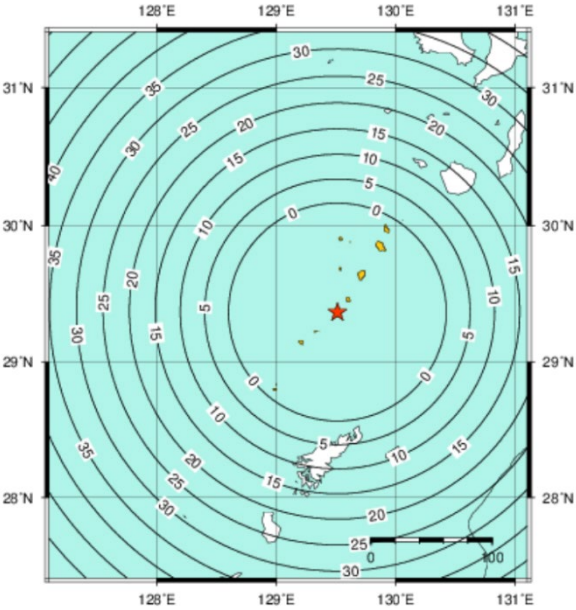
※2 震度 4 から 5 弱程度 鹿児島県十島村

※3 震度 3 から 4 程度 鹿児島県十島村

図 4－2 警報第 1 報発表から主要動到達
までの時間

 緊急地震速報（警報）を発表した地域

 : 震央



(5) 現地調査

ア. 調査概要

2025年7月3日16時13分に発生したトカラ列島近海の地震(M5.5)により、福岡管区気象台および鹿児島地方気象台は、「気象庁 機動調査班(JMA-MOT)」を派遣し、鹿児島県の十島村(悪石島)で震度6弱を観測した震度観測点の観測環境が地震により異常を生じていないか、設置状況の点検および震度観測点周辺(約周囲200m)での被害状況を把握するため、現地調査を実施した。なお同震度観測点では、5日06時29分の地震(M5.4)で震度5強を観測した。

イ. 調査日

2025年7月5日(土)

ウ. 調査対象震度観測点および観測環境点検結果

7月3日16時13分に発生した地震で震度6弱を観測し、7月5日06時29分の地震で震度5強を観測した「鹿児島十島村悪石島*」の観測環境の点検を行った結果、震度計台や周囲の地盤等に異常は認められなかった。図5-1に調査した震度観測点の配置を示す。

エ. 地震動による被害状況調査

震度観測点の周囲約200mの範囲内において、地震動による建物被害等の調査を実施した。観測点周辺では、建物等の外観や住民からの聞き取り調査から、この地震に伴う被害は確認されなかった。

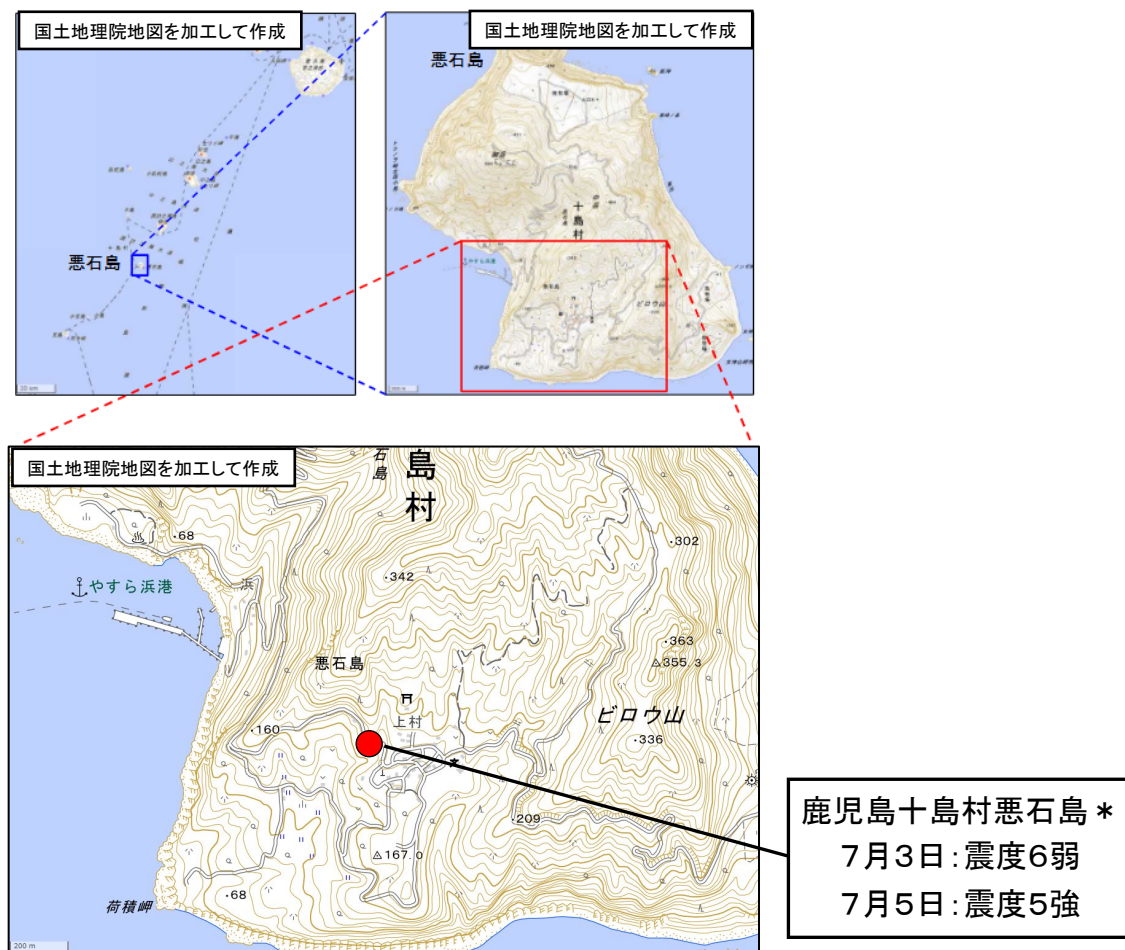
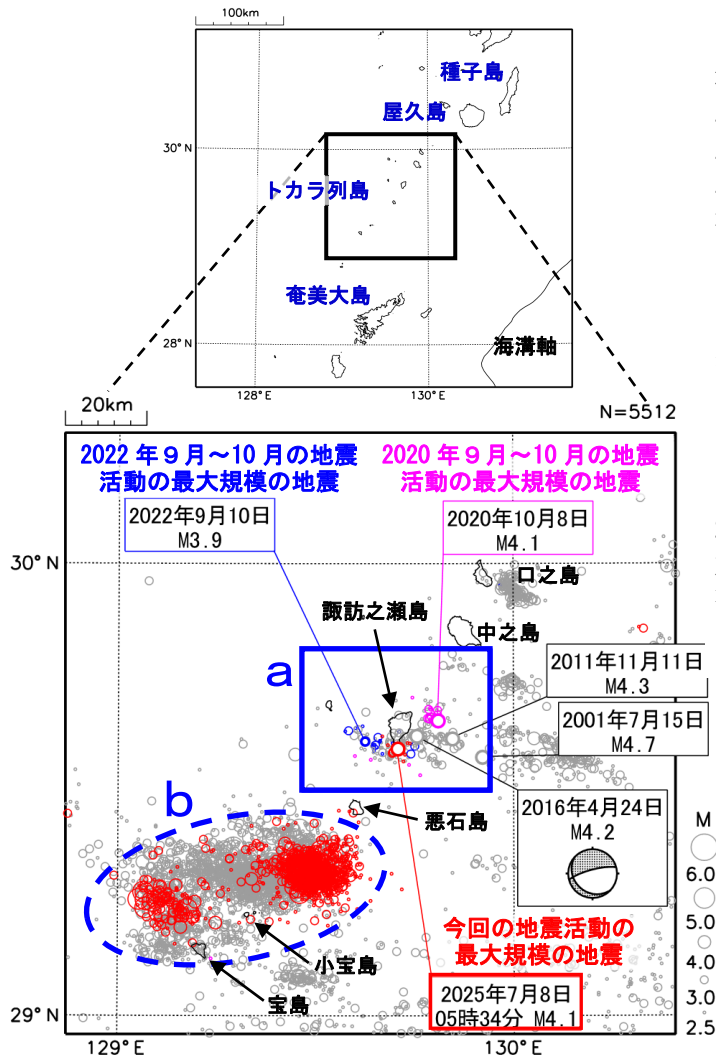


図5-1 調査実施地域(調査を実施した震度観測点)

*印は地方公共団体及び国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点を示す

トカラ列島近海の地震活動（諏訪之瀬島付近）

震央分布図
(1994年10月1日～2025年7月31日、
深さ0～50km、 $M \geq 2.5$)
2020年9月～10月の地震を桃色○で表示
2022年9月～10月の地震を青色○で表示
2025年7月の地震を赤色○で表示
図中の発震機構はCMT解



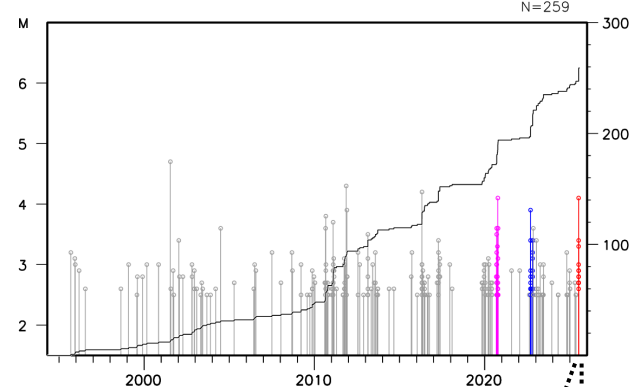
トカラ列島近海（諏訪之瀬島付近）では、2025年7月8日に地震活動が一時的に活発となり、7月31日までに震度1以上を観測した地震が33回（震度3：6回、震度2：6回、震度1：21回）発生した。このうち最大規模の地震は、8日05時34分に発生したM4.1の地震（最大震度3）である。これらの地震は陸のプレート内で発生した。

1994年10月以降の活動をみると、今回の地震活動域付近（領域a）では、時々まとまった活動が見られる。最近では、2022年9月から10月の活動で、震度1以上を観測した地震が27回（震度3：5回、震度2：4回、震度1：18回）発生した。このうち、最大規模の地震は2022年9月10日に発生したM3.9の地震（最大震度3）である。また、2020年9月から10月の活動で、震度1以上を観測した地震が14回（震度3：2回、震度2：5回、震度1：7回）発生した。このうち、最大規模の地震は2020年10月8日に発生したM4.1の地震（最大震度3）である。

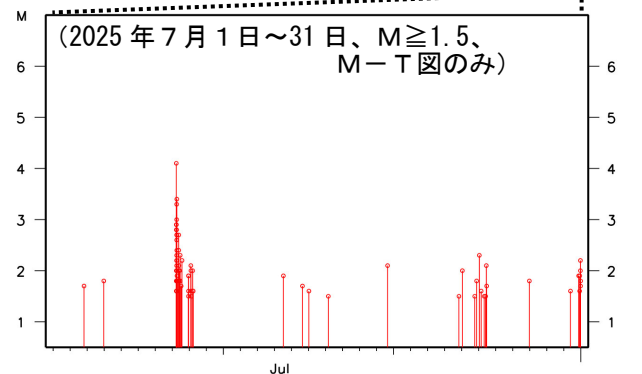
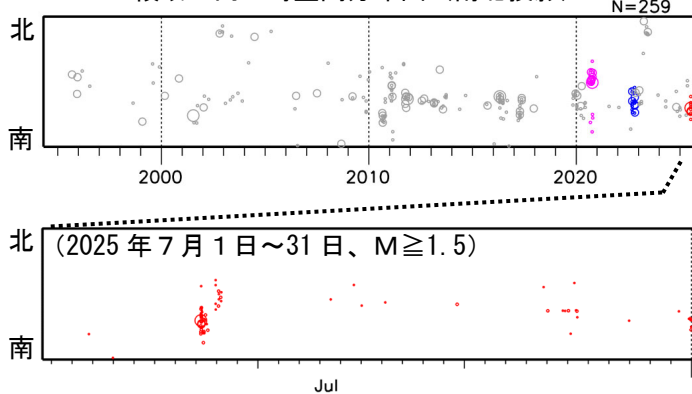
なお、今回の地震活動域の南西の領域（領域b）では、2025年6月21日05時頃から地震活動が活発となり、7月31日までに震度1以上を観測した地震が2238回^(注)発生した（7月3日に発生したM5.5の地震により鹿児島県十島村（悪石島）で震度6弱を観測）。

(注) 掲載している値は速報のもので、その後の調査で変更する場合がある。

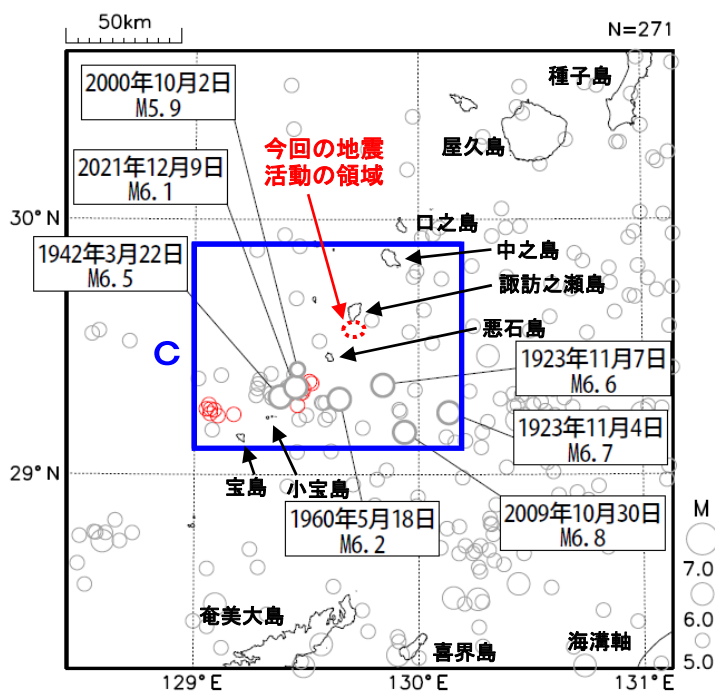
領域a内のM-T図及び回数積算図



領域a内の時空間分布図（南北投影）

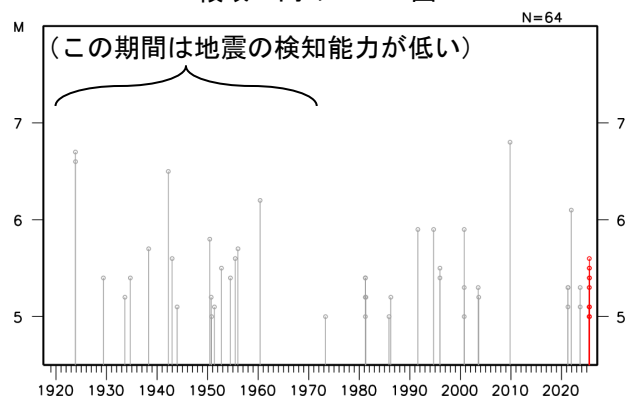


震央分布図
(1919年1月1日～2025年7月31日、
深さ0～100km、 $M \geq 5.0$)



1919年以降の活動をみると、今回の地震活動域周辺 (領域c) では、 $M5.0$ 以上の地震がしばしば発生している。このうち、2000年10月2日に発生した $M5.9$ の地震 (最大震度5強) では、鹿児島県十島村 (悪石島) で水道管破裂などの被害が生じた (被害は「日本被害地震総覧」による)。また、2009年10月30日に発生した $M6.8$ の地震では、枕崎で18cm、奄美市小湊で11cm (平常潮位からの最大の高さ) の津波を観測した。

領域c内のM-T図



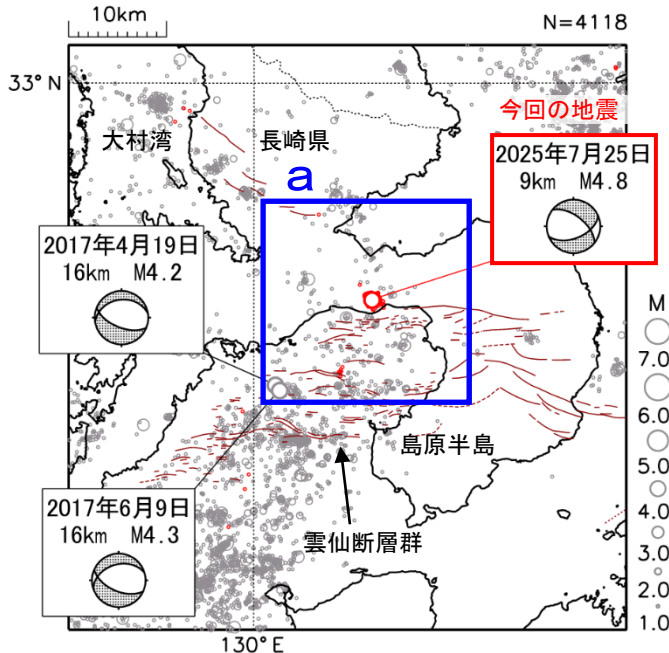
7月25日 長崎県南西部の地震

震央分布図

(2000年10月1日～2025年7月31日、
深さ0～20km、 $M \geq 1.0$)

2025年7月の地震を赤色○で表示

図中の茶色の線は地震調査研究推進本部
の長期評価による活断層を示す

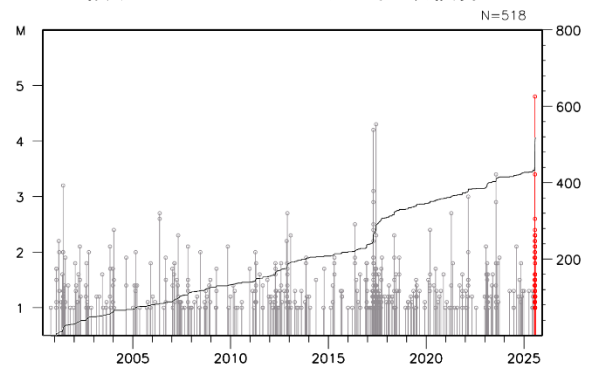


2025年7月25日11時17分に長崎県南西部の深さ9kmで $M 4.8$ の地震（最大震度4）が発生した。この地震は地殻内で発生した。発震機構は南北方向に張力軸を持つ型である。この地震の発生後、ほぼ同じ場所で7月26日00時28分に $M 3.4$ の地震（深さ8km、最大震度2）が発生した。

2000年10月以降の活動をみると、今回の地震の震央付近（領域a）は、 $M 4.0$ 以上の地震が今回の地震を含め3回発生している。2017年4月19日に $M 4.2$ の地震（深さ16km、最大震度3）が、同年6月9日に $M 4.3$ の地震（深さ16km、最大震度4）が発生している。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域b）では $M 5.0$ 以上の地震が12回発生している。このうち1984年8月6日には、 $M 5.7$ の地震を最大とする地震活動により、長崎県小浜町（現在は雲仙市）で建物一部破損53棟などの被害が生じた。また、1922年12月8日に発生した $M 6.9$ 及び $M 6.5$ の地震で、長崎県では死者26人、負傷者39人、住家全壊195棟などの被害が生じた（被害は「日本被害地震総覧」による）。

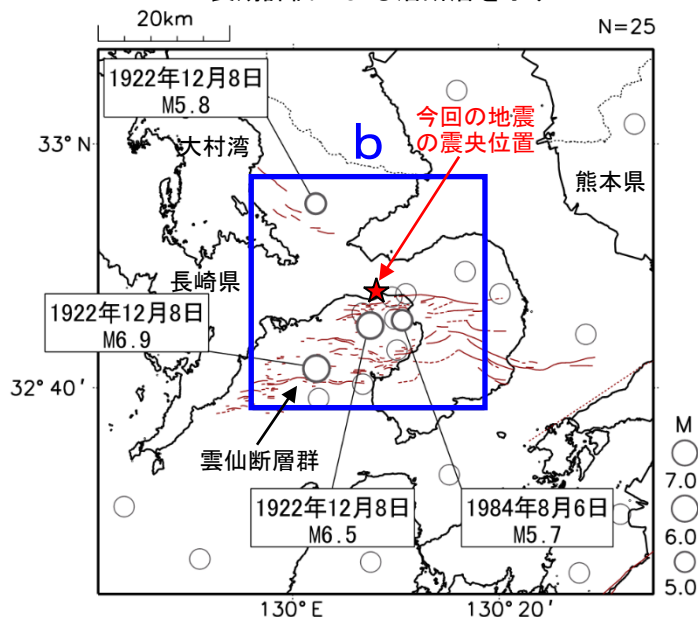
領域a内のM-T図及び回数積算図



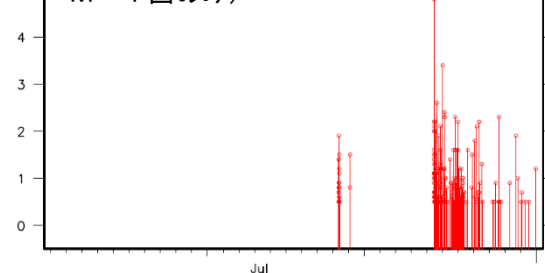
震央分布図

(1919年1月1日～2025年7月31日、
深さ0～50km、 $M \geq 5.0$)

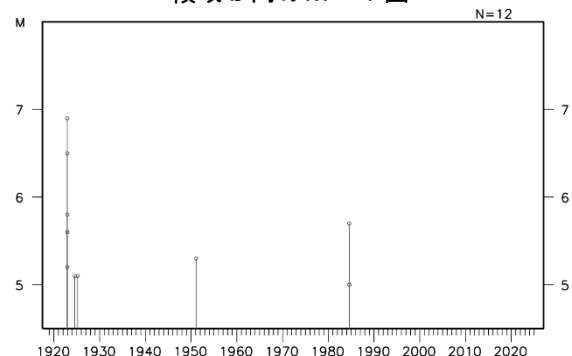
図中の茶色の線は地震調査研究推進本部
の長期評価による活断層を示す



(2025年7月1日～31日、 $M \geq 0.5$ 、
M-T図のみ)



領域b内のM-T図



気象庁作成